

5月18日にあったかほ一む恒例のバーベキュー大会をしました。お手伝い等行事に関わってくださった方々、ありがとうございました。



あったかほ一む

<p>2月行事</p> <p>10日・・・くらし支え合いNPO・地域活動支援フォーラム</p> <p>14日・・・石部小学校説明会</p> <p>18日・・・新春慰労会</p> <p>26日・・・第3回合同研修会</p>
<p>3月行事</p> <p>2日・・・平和堂人形劇鑑賞</p> <p>24日・・・じゃがいも植え</p> <p>26日・・・ボランティアコーディネーター養成プログラム終了式</p> <p>30日・・・クラブ会員誕生日会 (1, 2, 3, 月生まれ)</p>
<p>4月行事</p> <p>2日・・・バルーンアート(村木季子さん)動物、花、リングなど作ってもらいました</p> <p>3日・・・じゅらくの里へピクニック川遊びをしたり、ボールで遊んだり楽しかった</p>

サポートセンターに期待すること(本部事務局ボラ 瀬古隆)

この4月からサポートセンターが専任スタッフと活動場所を得て、本格的に活動を始めました。

“井上さんちのお食事会”であったか倶楽部の皆さんにはお馴染みの井上正隆さんにセンター所長として、さらに、福永さん、足立さん、森脇さん、という新しいスタッフにご協力頂きます。

『サポートセンターは何をやる場所？』『どのようなことが依頼できるの？』という方も多いと思いますので、少し紹介します。

地域のグループホームで暮らす人たちが、ホーム外で支援を必要とする場面(例えば通院や余暇活動への参加)でサポートセンターがお手伝いします。またNPOの事業所どうしの繋がりを強める活動(わいわいのお年よりがあったかをブラリ訪問するなど)も始めていただきたいと思います。

これまで、各ホームなどでの生活・活動が、限られた空間や特定の担当者で自己完結してしまいがちで、また、「個人」よりも「グループ」が優先される傾向があったと思います。一人ひとりの生活を大切にしようとするほど、限られた支援者では関わりが薄くなり、個別支援も中途半端になってしまっていたかもしれません。

サポートセンターによって、各ホームなどの支援が足りないところに”孫の手”が伸びて、支援の細の目が細くなるよう期待しています。



去年の夏休みにインターンシップに来られた学生さんの感想文

8月の1ヶ月間90時間ではありましたが、インターンシップとしてあったかほ一むに行かせていただきました。最初は子どもとどう接したらいいかなど不安に思うことがありましたが、あつあつ一むのスタッフのみなさんや子どもたちが、暖かく迎えて下さったのでとても貴重な時間を過ごせました。

子どもたちは夏の暑い時期にも関わらず、私が予想していたよりもとても元気だったので体力的に負けやうなときもありました。しかし今振り返っても、子どもたちと関わり触れ合う中で、暖かい気持ちになれたり、元気になれたり、新たな発見ができたり、感心したりと私自身がとても豊かになっていたと感じます。またあったかほ一むに来てよかったと思いました。

私はこのインターンシップを通じてボランティアとは何か考えていたのですが、『自身の心が豊かになる』これこそがボランティアの魅力であると思いました。あったかほ一むを利用していただいていた子どもたちや、スタッフの方も私たちがボランティアに来てよかったと思ってくれていると幸いです。ありがとうございました。

私は、夏にあったかほ一むいしべ宿でボランティアをさせてもらいました。始めは子どもが苦手だという意識があったけれど、子どもたちと話しているうちにだんだんと慣れていき、楽しく過ごすことが出来ました。ボランティア活動をしたことがない私にとって、とても貴重な経験となりました。

あったか 実施サービス

<子育て支援>

親子サロン・幼児一時預かり・学童保育

<シルバー生きがい支援>

シルバーボランティア・高齢者による子育て支援

<余暇かつどう支援>

あったか倶楽部

4月からあったかほ一むにもう一人コーディネーターが増えました。

これで、常勤が2人体制になります。ますます、いろいろな事が出来やうな予感？今後も利用者さんと一緒に盛り上げて行きたいと思っています。新しく来た方については、今度紹介させて頂きますので、お楽しみに

